



「はうた春雨まるやま生まれ

而も花月の花の下」

平山蘆江

平山蘆江は明治十五年、神戸市に生まれた。本名は壮太郎。実父の死後に長崎の酒屋である平山家の養子となる。

明治四十年、都新聞社（現・東京新聞社）に入社。花柳・演芸欄の担当記者として活躍する一方、直木三十五らと「大衆文芸」を創刊するなど作家活動も始めた。昭和五年に退社し、作家業に専念した。

歴史小説や怪談を著し、「西南戦争」や「唐人船」などの代表作がある。都々逸を好み、「長崎自讃」「長崎文化物語」「長崎出島」「長崎物語」など長崎に関する作品もある。

端唄の名曲「春雨」の記念碑が史跡料亭花月の庭園に建立されているが、題字と裏面に刻まれた歌は蘆江によっている。